

議会報告会報告書

平成29年1月24日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

A班

代表 矢田松夫

平成28年12月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成29年1月 24日 (火) 14:00～15:20

2 開催場所

赤崎公民館

3 参加人数 (市民)

4 人

4 担当班議員名

(矢田松夫) (笹木慶之) (山田伸幸)

(石田清廉) (河野朋子) (杉本保喜)

5 報告会次第

(1) 市議会代表挨拶

(2) 12月議会の報告

① 総務文教常任委員会 (笹木慶之) [司会] (石田清廉)

② 民生福祉常任委員会 (矢田松夫) [記録] (河野朋子)

③ 産業建設常任委員会 (山田伸幸) [受付] (杉本保喜)

(3) 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

<総務文教常任委員会>

- ① 指定管理料は市が富士商に支払うのか。

[回 答]

その通りで、市が指定管理者に支払うものである。

- ② きらら交流館の年間の利用者数はどれくらいか。

[回 答]

利用者数は資料がないのでわからないが、利用料金の実績によればレストランの利用が減ってきているようである。

<民生福祉常任委員会>

- ① 市民病院の待ち時間の解消について、前回の報告会で改善策が出ていたが、その後どうなったのか。

[回 答]

医師クラークの配置をしたが、スムーズにっていないようである。

呼び出しフォンについては、待ち時間にそれを持っていく場所(理髪店、食堂)がないというのが現状である。

<産業建設常任委員会>

- ① 水道料金の値上げについて、市政説明会が行われているが、議会報告会との違いは。

[回 答]

市政説明会は議会で提案した内容を少しわかりやすく市民へ向けて説明している。議会報告会では、水道料金値上げについて議会でどのような議論があったのかを説明している。

- ② 勤務している老人施設では年間 600 万円もの水道料金を払っていて、値上げとなると利用者への負担となる。慣習として、値上げする時はまず大きな上げ幅を提案し、後に修正案として上げ幅を下げ理解してもらおうという手法がとられるようであるが、今後修正の上げ幅で提案されたとしても反対してほしい。

[回 答]

これだけの重要議案が唐突に出されたことに驚いている。議会としてもしっかり市民の声を聞き検討していく。

- ③ 40年を見越しての値上げとのことだが、40年もたてば工事や機材等改良されるのではないか。

[回 答]

その通りで、さらに国の補助金なども変わる可能性がある。

④ 宇部市との広域化ではどのようなメリットが考えられるのか。

[回 答]

一般的には広域化によって施設の統合や人員の削減などが考えられるが、宇部市と本市の水道事業の現状にはさまざまな違いがあり、単純にはいかないため、まだ広域化は進んでいない。

<その他>

① 山陽オートは債務の返済が終われば廃止するのか。

[回 答]

議会としては回答する立場にない。

② 小規模土木では待機の自治会を減らすために、地元負担が2割から3割に上がったが、会員の少ない自治会には負担が大きい。もっと市の補助金を増やすべきと思うがどうか。

[回 答]

小規模土木の年間の予算は年々増額しているが、それでも順番待ちの自治会が多い状況である。委員会としても提言していきたい。

<意見・提言>

① 若い人が議員になれない状況なので、定数の削減はすべきでないし、報酬を上げるべきである。議員も厚生年金に加入できるようにする動きがあるようなので、参画してはどうかと思う。

② 山陽オートには反対であるので、廃止してほしい。

③ 予算の使い方について有効活用するよう議会としてチェックしてほしい。